

個別事業説明書【PR版】

東予地方局



1 在住外国人向け石鎚エリア観光促進事業費(東予)

石鎚エリアの強みである「自然」「歴史」「文化」の要素を軸に、それらと親和性が高い「在住外国人」をターゲットにエリアの魅力を発信し、観光による交流人口の拡大を図る。

お問い合わせ先
東予地方局地域産業振興部
商工観光課
(0897-47-0276)

事業イメージ

KPI	石鎚エリアを旅行した在住外国人数	現状値 R5.4に実態調査・分析予定
	(県内技能実習生の約3割のエリア周遊を目指す)	目標値 2,000人 (R5~6年度累計)

石鎚エリア

課題

- 深刻な人口減少
2060年△42.8%(東予)
→観光で交流人口増が急務
- 松山、今治と比べ観光低調
→積極的な売り込みが必要



強み

- 豊かな自然・歴史、文化
- 自然を活かしたアクティビティ

相性◎

特徴

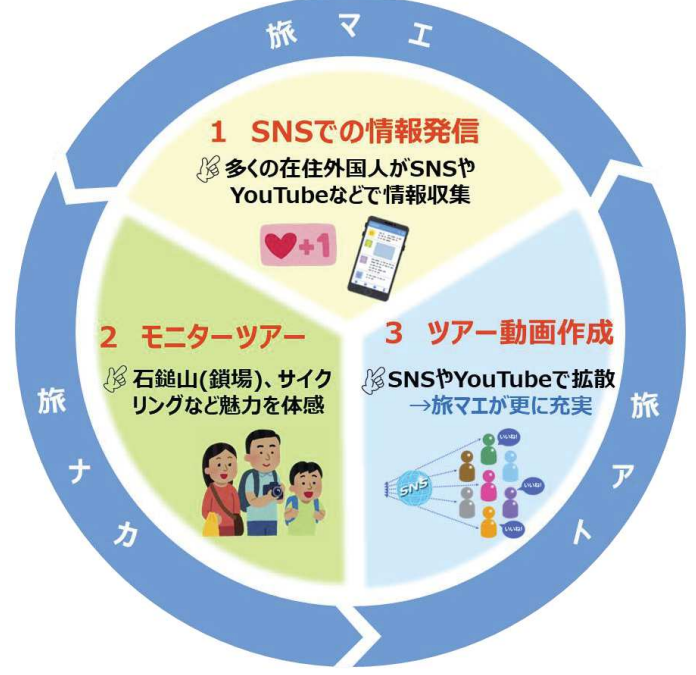
- 訪日外国人よりも…
自然、歴史、文化に興味
マイナーな地域にも興味
- インバウンド水際緩和踏まえ
訪日客の呼び水に



ex. 技能実習生(ベトナム)
JET(欧米豪) 等

在住外国人

在住外国人を対象に
団体や企業等を通じてPR!

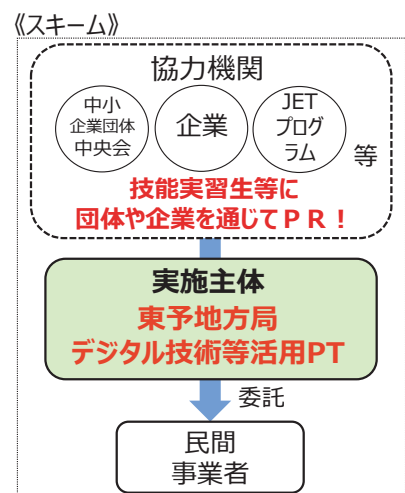
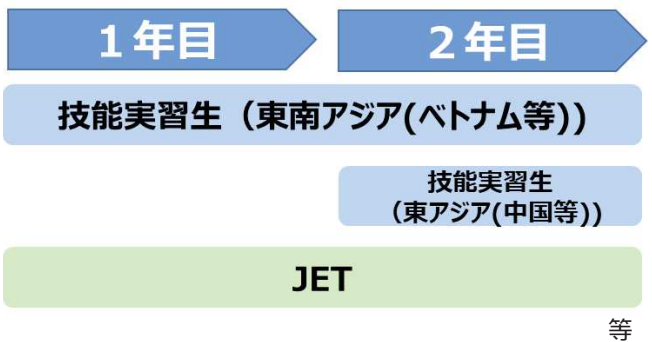


石鎚エリアの観光客数増!!

事業概要

- SNSでの情報発信 275千円**
 - 石鎚エリアに特化した外国語対応のSNSアカウントを開設し、在住外国人をメインターゲットに情報発信する。
(1年目:英語・ベトナム語・やさしい日本語、2年目:+簡体字・繁体字・韓国語)
 - 同SNSを活用してハッシュタグキャンペーンを実施し、石鎚エリアの旅の感想をSNSに投稿した在住外国人に特産品等をプレゼントする。
- モニターツアーの実施 812千円**
在住外国人を対象にしたモニターツアーを実施する。(1のSNSや企業等を通じて募集)
- ツアー動画作成 413千円**
2で実施したツアーの様子を動画撮影し、1のSNSやYouTubeを活用して情報の拡散を図る。

在住外国人のうち中心的にアプローチする層





2 デジタルを活用した地産地消・食育推進事業費(東予)

地場産品使用率が低い東予東部の小学校において、地場産品を生きた教材として、GIGAスクール端末を活用した「地産地消と食育」に、新居浜高専と連携して取り組み、幼少期の食育体験を通して、「食」と「農」を考えられる消費者の育成を図り、地場産品の利用率の向上を目指す。

お問い合わせ先
東予地方局農林水産振興部
農業振興課地域農業育成室
(0898-68-6812)

事業イメージ

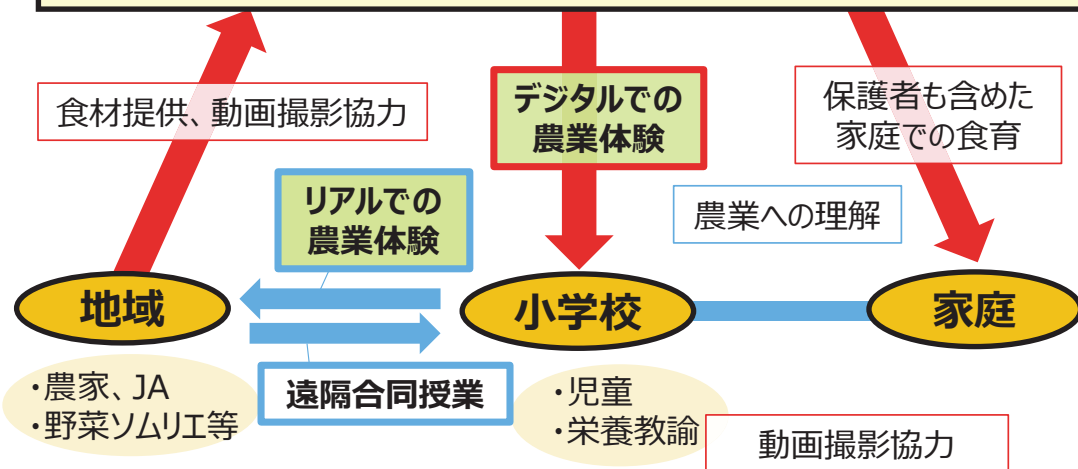
KPI 東予地域の学校給食地場産品使用率県平均達成市町数
現状値 2市町(R3年度)
目標値 全5市町(R6年度)
(全5市町での達成を目指す)

事業概要

地産地消・食育推進のポータルサイト

主なコンテンツ：

- ・作物育成シミュレーション(新居浜高専と連携)
- ・地産地消に関する動画(農業者情報：スマート農業・儲かる農業実践者、地場産品情報：栽培・収穫・出荷状況など)
- ・家庭で使える食育ツール(地場産品活用レシピ動画等)



地産地消と食育の推進による地場産品の利用率向上

- 1 地産地消・食育推進のポータルサイト開設 1,489千円**
小学校に配備されたGIGAスクール端末向けのサイトを構築
・作物育成シミュレーション<新居浜高専と連携>
・地産地消に関する動画(農業者情報：スマート農業儲かる農業実践者等、地場産品情報：栽培、収穫、出荷まで)
・地場産品活用レシピ動画(各2分程度)
- 2 GIGAスクール端末を活用した農業体験 337千円**
・生産現場と管内の小学校をオンラインで繋ぐ遠隔合同授業<デジタル>
・夏休み期間中の農場での植付けや除草、収穫作業体験<リアル>
・同世代が行う農作業体験動画を通じて農業への興味・関心を高める
- 3 東予地域地産地消・食育推進連携会 78千円**
・構成：管内全市町、栄養教諭、委託業者、農家、JA、県
・ポータルサイトの内容と活用方法検討、優良事例の情報提供による横展開
⇒ 地域の中での生産・流通・消費の拡大により農業振興

《スキーム》

民間事業者

- ・作物育成シミュレーション
- ・遠隔合同授業・動画の作成

委託